

ゼミ活動報告 「第二回宮門会」

竹内 梨子

11月22日(土)、宮川ゼミの卒業生から現役生までが集まり第二回宮門会が開催されました。久しぶりに会う方や初めて会う先輩もいるので、私はこの日を楽しみにしていました。さっそく行きの電車で1期生の方に初めてお会いしましたが、ゼミの中で何度もお名前を聞いていただけに実際にお会いした時は「あの1期生の方たちか」と妙な感慨に浸っていました。会場に到着すると2期生の方が迎えてくださり、再会を喜び和気藹々とした雰囲気の中、宮川先生と太田さん、1～4期生の大所帯で宴会がスタートしました。



乾杯をした後はしばらく鍋をつつきながら、それぞれのテーブルでお仕事の話や、今のゼミでしていることなどを話しました。4期生は三商大討論会やCORE論文の準備で毎日のように集まっていますが、先輩方が当時どのように準備を進めていたのかをお聞きできたの

は私にとって大きな収穫でした。その後は1期生2期生の方々の近況報告をお聞きし、3期生、4期生の近況報告と続きました。どの先輩も社会人として大変な苦勞をされていると思いますが、その中でも仕事の楽しさなどが伝わってきました。宮川先生のお話しの中にもあったように、社会人になってから「自分はこんなはずじゃなかった」と思うことは少なからずあるのだと思います。就職活動が間近に迫っている私たち4期生も、近い将来こうして再び集まってお互いの仕事の話をする日が来ると思うと、思いを共有し、相談することができる人たちがいるというのは素晴らしいことだと思いました。



最後に輪になって肩を組みながら全体で、宮川ゼミのテーマソングを歌い、一次会はお開きになりました。一方では初めてお会いした1期生の方々のパワフルさに圧倒され、また一方では女性比率の高い2期生の方々の華のある雰囲気や安心したりと、4期生まで集まるとそれぞれの代のはっきりと違った個性が浮き出てとても面白かったです。今度の宮門会はまだ1年後ですが、今回は都合が悪く参加できなかった方も含め、次にお会いした時に一体それぞれどのような報告を聞けるのかと今から楽しみです。星野さんはじめ2期生の先輩方、素敵な会を主催してくださって本当にありがとうございました。

